

公演終了後、出演者との握手会があります!

ミュージカル

シンデレラ

原作/シャルル・ペロー

美しい音楽とバレエで綴る幸せの物語



王子 渡辺 和貴



シンデレラ 松下 萌子



魔法使い 伽藍 琳

いつでも微笑みを忘れない美しい心を
子どもたちへ伝えます

●演出/源 紀 ●脚本/北 麦生
●プロデューサー/相羽 源之助 ●制作/深田 倫紀・川島 清和

制作/TS 劇団東少

●音楽 神尾 憲一・塩谷 翔 ●振付 山本 教子・相羽 源氏 ●舞台監督 正井 令二 ●美術 高橋 あや子 ●照明 立川 直也 ●音響 木谷 晶代 ●衣装 山田 いずみ ●声楽指導 市川 祐子

■日時 2015年8月22日(土) 14:00開演(開場13:30)

■会場 川越市市民会館やまぶき会館 中ホール

■入場料 全席指定 2,500円(税込み)

※3歳以上大人、子ども共同一料金 ※2歳以下保護者膝上観覧は無料

●共催 (公財)川越市施設管理公社/有劇団東少 ●後援 川越市/川越市教育委員会

【お問合せ】▶川越市民会館 ☎049-222-4678

▶劇団東少 ☎03-3377-7483

前売開始日

5/9(土)

チケット販売所

川越市市民会館	049-222-4678
川越西文化会館	049-233-6711
川越南文化会館	049-248-4115
有劇団東少	03-3377-7483

最寄のセブンイレブン(セブンチケット)でも御購入できます。

ミュージカル シャルル・ペロー原作

シンデレラ

かいつつ

あらゆる童話の中で、シャルル・ペローの「シンデレラ」は、世界中の人々に愛され続けてきた作品といえるでしょう。又、世界中に何百と同じような話があると云われています。何がそれほど親しまれ、好まれてきたのか……やさしく真面目でいつも微笑みを忘れない素敵な娘が、継母や腹違いの姉さんたちから「灰かぶり」(シンデレラという言葉は「灰かぶり」と言う意味なのです)と呼ばれ、いじめられて泣いていたが、舞踏会で優しい王子様に出会い結婚し、お姫様となり、いつまでも幸せに暮らしました。……このようなハッピーエンドの物語が、万人の心を捕らえて放さなかったのでしょう。

「シンデレラ」は、グリム童話では非常に残酷なお話ですが、ペローのお話の「サンドリヨン」(これも「灰かぶり」と言う意味のフランス語です)では、魔法使いのおばあさんが登場し、古いかぼちゃを馬車に変え、12時になると魔法が解けてしまう物語で、一般的に知られているお話です。子どもから大人まで楽しめる感動的なミュージカルです。ぜひ、劇場で夢の世界をお楽しみ下さい。

あらすじ

むかしむかし、ある国に心のやさしい娘がいました。その娘が小さな頃、お母さんが亡くなり、やがて新しいお母さんが二人のお姉さんを連れてやって来ましたが、間もなくしてお父さんも亡くなってしまいました。すると、新しいお母さんとお姉さんたちは、娘を「シンデレラ(灰かぶりという意味)」と呼ぶようになり、シンデレラに家中の仕事をさせるなど、いじわるばかりしました。

ある日のこと、国の王様のお城で舞踏会が開かれることになりました。それは王子様のお妃様(結婚相手)を選ぶための舞踏会だったのです。シンデレラの家にも舞踏会の招待状が届きますが、「灰かぶりは行けないよ!」と、新しいお母さんとお姉さんたちはシンデレラを置いてお城に出かけました。

「私も素敵なお城に行ってみよう」と、シンデレラは夢見ながら釜戸の前でホウキと踊りましたが、一人ぼっちが淋しくて泣いていました。すると、釜戸の中から魔法使いが現れたのです。「お前さんも舞踏会に行っておいで」と、魔法使いが杖を振ると、台所の古いかぼちゃが素敵な馬車に、ネズミが白馬に、猫が馱者(馬を操る人)に変わりました。もちろんシンデレラも素敵なドレス姿に変わり、足元にはガラスの靴がキラキラと輝いています。でも、この魔法も真夜中の十二時をすぎると解けてしまいます。「いいかいシンデレラ、十二時までには必ず家に帰ってくるんだよ…」

喜んで舞踏会へと向かったシンデレラ。王子様は美しいシンデレラに一目惚れをしてしまいます。時間を忘れるくらいにシンデレラと王子様はワルツを踊りますが、やがて十二時の鐘が鳴り始め、シンデレラは逃げるように王子様のもとを離れました。しかし、シンデレラはお城にガラスの靴を片方落としてしまいました。

シンデレラを探すため、王子様は大臣たちを連れて国中を回り、娘たちにガラスの靴を履かせることにしました。とうとうシンデレラの家にも王子様たちがやってきますが、お姉さんたちがガラスの靴に足を入れようとすると、足元にはガラスの靴がキラキラと輝いています。でも、最後にシンデレラが履くとぴったりと合い、王子様はシンデレラを見つけたのです。

そして、シンデレラは王子様と結婚し、いつまでも幸せに暮らしました。

シンデレラ 松下萌子



- 1982年12月19日生まれ。兵庫県出身。
- オスカープロモーション所属。
- 1997年「第7回全日本国民的美少女コンテスト」でマルチメディア賞受賞。エイベックスよりCDデビュー後、女優としても数多くのドラマや映画、舞台に出演。主な舞台出演作に、三越夏休みファミリー劇場「眠れる森の美女」「人魚姫」「ボクは十二単に恋をする」「まほろばかなた～長州志士の目指した場所～」「屋根の上の魔女」など。

王子 渡辺和貴



- 1985年9月13日。三重県出身。A型
- JTBエンタテインメント所属
- 代表作は、ミュージカル「忍たま乱太郎」第5弾～新たなる敵～潮江文次郎役、舞台「サクラ大戦奏組～雅なるハーモニー～」ヒューゴ・ジュリアード役、ミュージカル「リズムミックタウン」ラオ役、『LIVE ACT「青の祓魔師」～魔神(サタン)の落胤～』志摩康造役、abc★赤坂ボーイズキャバレー表FINAL!!最後の放電!!～自分に喝を入れて勝つ!!～など多数。

魔法使い・マリオム 伽藍 琳



- 東京都出身。
- 舞台芸術学院、慶應義塾大学文学部弘文科卒業。2001年度文化庁芸術インターンシップ研修員(演劇部門)。近年の主な出演ミュージカルは「bare!」「マイ・フェア・レディ」「アンナ・カレーニナ」「スプリング・ピー」「AIDA」等。「ショウ・ポート」(演出助手)「モーツァルト!」「サンセット大通り」(振付助手)「NHK おかあさんといっしょファミリーコンサート」(演出振付助手)等、クリエイティブスタッフとしても活躍の場を広げている。



■協力/オスカープロモーション・JTBエンタテインメント・山本教子バレエスタジオ

●劇団東少・受賞のかずかず……厚生省児童福祉文化賞・東京都児童劇団優秀賞・読売児童演劇賞・日本児童演劇脚本賞(創立1949年)

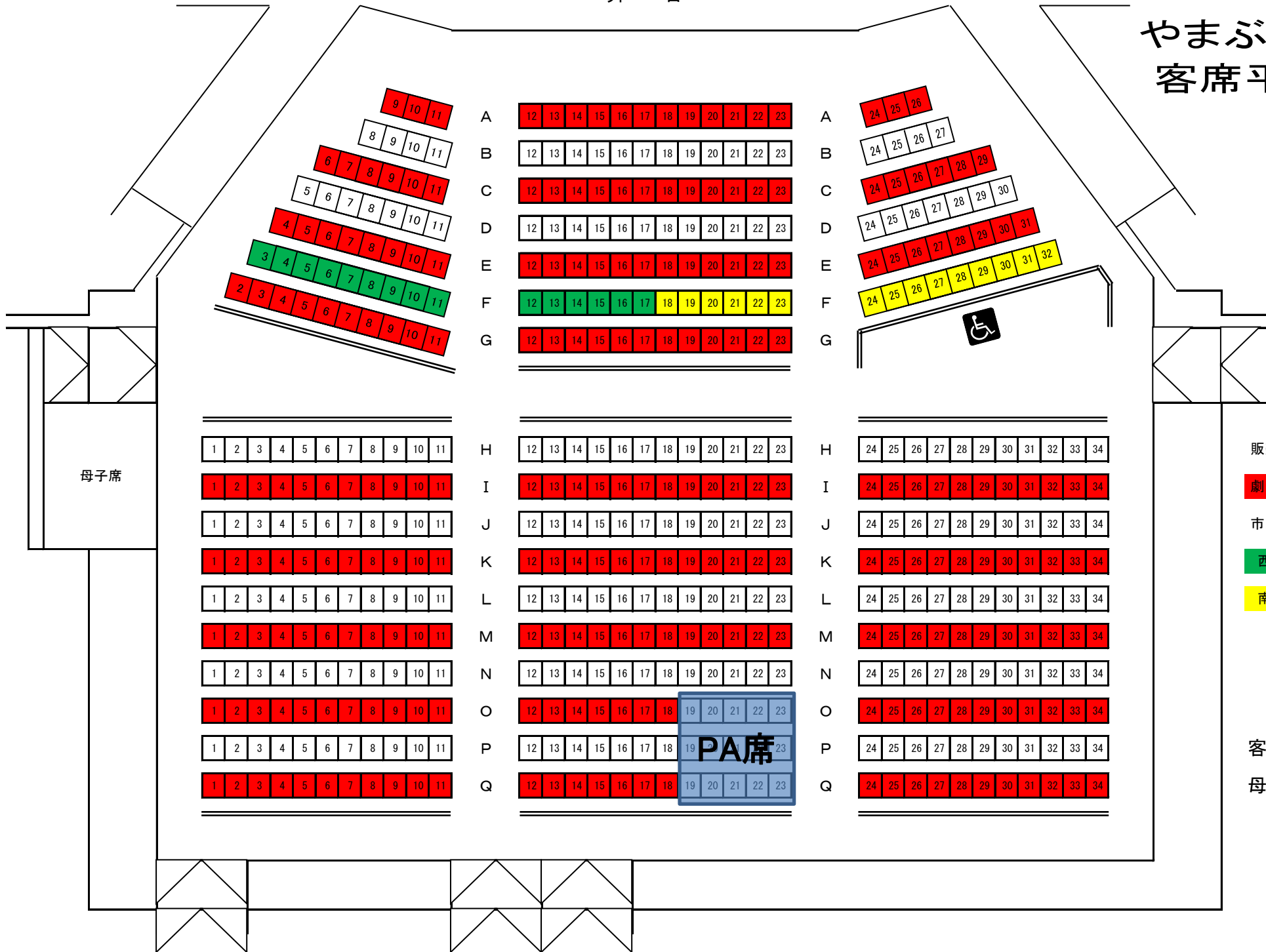
劇団東少の紹介

劇団東少は、1949年創立以来公演活動を続けて半世紀を超えた歴史ある児童演劇の専門劇団です。公演地は全国的であり、公演日数も年間100日を超え15万人以上の動員をしています。特に東京公演では、1985年からスタートした東京日本橋の三越劇場で夏・冬のファミリー劇場は、定期公演になり、一般公演の少ない児童演劇界でホール専用の質の高いプランニングが、美しいステージを創り出しています。又、出演者は数百名のオーディションの中から選ばれた、演技・ダンス・歌に実力ある俳優とベテラン俳優が参加し、大人も子どもも感動できる作品を制作し、公演しています。

劇団東少の作品レパートリーは、心の優しさを描き、涙と笑いと感動のできる本格的な創作ファミリーミュージカルとして好評を博しております。

舞 台

やまぶき会館
客席平面図



販売枚数 493

劇団東少 230

市民会館 233

西文化 15

南文化 15

客 席 508

母子席 5

計 513